

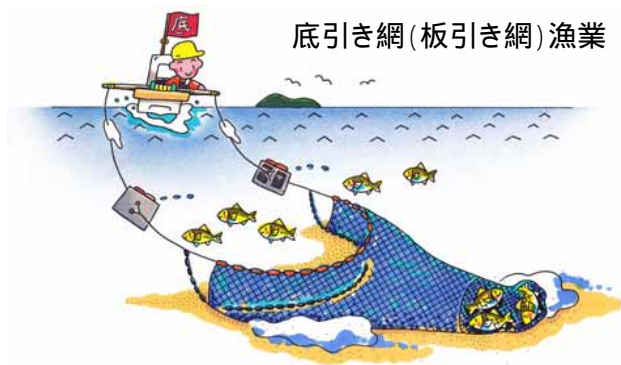
大阪湾での漁法

大阪湾では、いろんな漁法で魚を獲っています。

泉佐野漁業協同組合の漁師さんは、底引き網漁がほとんどですが、あなごかご漁、刺網漁をしている漁師さんもいます。

北中通漁業協同組合の漁師さんは、船引き網漁がほとんどで、底引き網漁や、あなごかご漁、刺網漁をしている漁師さんもいます。

底引き網(板引き網)漁業



2本のロープに結び付けられた開口板(かいこうばん)が特徴です。網の口を大きく開かせる役割をしています。網の口の下部に沈子(ちんし=おもり)が取り付けられています。この網で海底をひいて操業します。

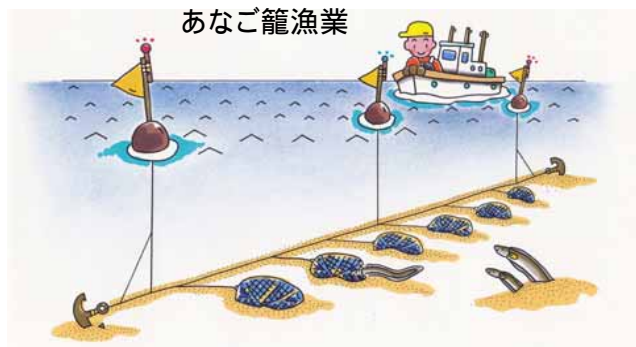
主に、スズキ、アナゴ、マアジなどを4月から11月頃に漁獲します。

底引き網(石桁網)漁業



漁具は鉄の爪のついた鉄棒に袋状の網を取り付けています。鉄棒(けたと言います)の両端には、おもりとして大きな石を付けているので、石げた網の名前がついています。この石げた3丁から5丁をワイヤーロープで漁船から張り出した棒にかけ、海底をひっぱります。このとき、爪が海底の砂泥をひっかけ、おどろいて出てきた魚介類を袋網の中に取り込んで漁獲します。主にエビ、カニ、シャコ、ウシノシタ類を漁獲の対象としています。漁期は、一年中です。

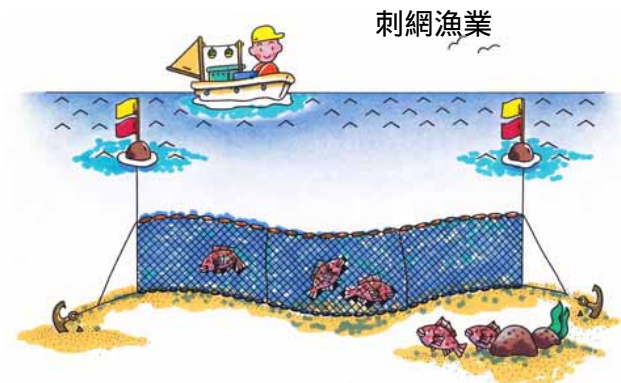
あなご籠漁業



ネズミ捕りの籠(かご)を大きくしたような網の籠を使います。イワシなどのエサを入れた籠をロープに結び付けて海底に沈めます。夕方から夜間に漁を行います。

漁期は、ほぼ一年中です。この漁法で獲れるのは名前のとおりアナゴです

刺網漁業



魚が泳ぐところをさえぎるように、網を海底に張ります。魚を網の目からませて獲ります。獲る魚の種類によって、網の目の大きさや網を張る深さが異なります。呼び名もいろいろあり、一枚建網(たてあみ)、三枚建網、かに建網、した建網などと呼ばれる網が使用されます。

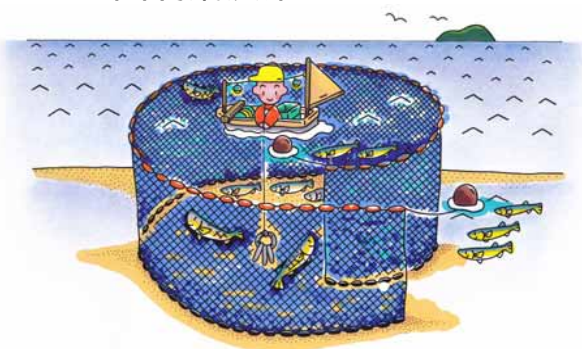
カサゴ、メバル、カレイ類、カニ類などを漁獲しています。漁期は、一年中です。

船びき網漁業



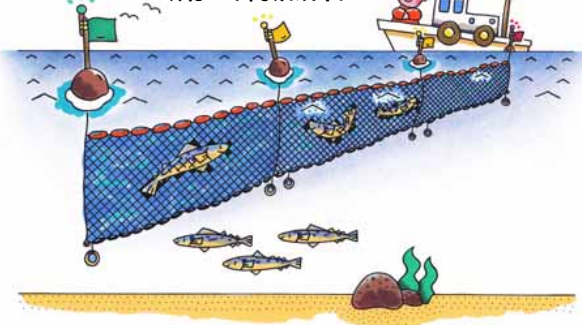
大阪では、パッチ網漁業とも呼ばれています。網の形が、パッチ(ももひきの長くて足首まであるもの)に似ているからです。2隻の網船が魚群を抱え込むように投網し、平行に並んで網をひきます。進行方向右側の船が緑の旗を、左側の船が赤い旗をあげています。網の先は、目の細かい袋状になっていてここに魚がたまります。しばらく網をひいた後、袋網にたまった魚を、運搬船がとりあげ、港へ運びます。2月から3月頃はイカナゴシラスを、5月から11月頃はイワシシラスを漁獲します。

囲刺網漁業



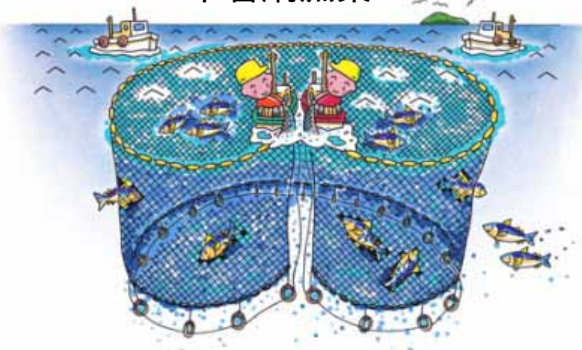
刺網の一種で、魚群の周りを囲むように網を入れます。次に、水面を竹竿などでたたいたり、水中で鉄輪を鳴らし、魚をおどろかせて、網にからませて漁獲します。5月から11月にかけて、スズキなどを漁獲します。

流し網漁業



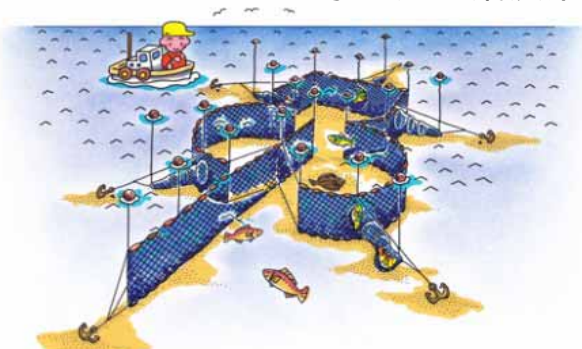
網を錨(いかり)などで固定しないで、潮流、風によって表・中層を流します。網を水中に吊るすために、浮子や浮標を多く使用します。獲る魚の種類によって、網目の大きさや網を流す水深がちがいます。網は長いもので3kmにもなり、夜は灯火をつけて網の位置を示します。主にサワラ、ツバス(ブリの子)などの回遊魚を5月から11月に漁獲します。

巾着網漁業



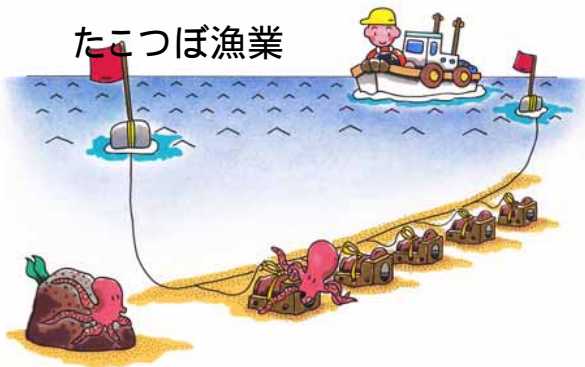
この漁業は網を入れる船が2隻、魚群を探す船、獲った魚を運ぶ船など5隻程度の船団を組んで操業し、大阪湾では最も規模の大きい漁業です。魚群を発見すると、網船は現場に急行します。そして、魚群を長さ1000mの巨大な網で囲みます。その後、網のすそを絞り込んで魚の退路を遮断します。最後に、網をたぐり寄せ、獲った魚をフィッシュポンプで運搬船に移し、港へ運び水揚げします。イワシ類、アジ・サバ類、コノシロなどを6月から10月に漁獲します。

小型定置網漁業



魚介類は、餌を探したり、産卵のため、群れで行動する種類が多く、定置網はこの習性を利用して、効率よく漁獲する漁具の一つです。府内の沿岸では、規模の小さい桁網(ますあみ)などが使われています。これらを小型定置網と呼んでいます。この漁法では、スズキ、マアジ、メバル、クロダイ、コウイカなど多くの種類の魚介類を漁獲します。主な漁期は4月から12月です。

たこつぼ漁業



海底の岩の割れ目や穴にかくれて生活するタコの習性を利用して、50個から100個ほど海底に沈めます。漁期は10月から翌年4月です。この漁法で獲れるのは名前のとおりタコです

わかめ養殖漁業



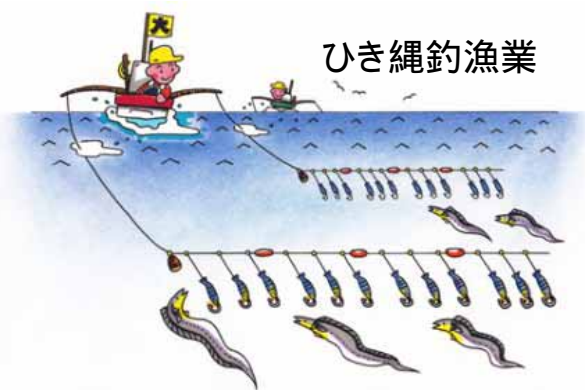
10月下旬頃に、幼芽のはえそろった種糸をロープに長いまま巻きつけるか、短く切ってはさんだものを海面近くに水平に張り出します。府内では、阪南市、岬町で養殖が行われています。

のり養殖漁業



10月上旬に採苗したノリ網を、下旬頃までに海面で育て、一旦冷凍保存します。11月中旬頃から約半数のノリ網を順次海面に張り出します。府内では、阪南市で養殖が行われています。

ひき縄釣漁業



漁船から竹竿を張り出し、これに釣糸をつけ、エサの小魚の形に似た擬餌針(ぎじばり)をひきまわして、これに食いつく魚を漁獲します。大阪湾では、タチウオ、サワラを8月から翌年2月頃に漁獲します。